京城日報　五日夕刊（ロ）　12.8 寄贈

南京陷落を機會に わが態度を再聲明
政府關係當局で準備工作

【東京電話】北支並に中支各方面に於ける皇軍の神速果敢な進擊により、北支方面に於ては既に鐵桶一線の山東省を殘して戰局は一段落の段階に達し、又中支方面に於ては長期抗戰を豪語した國民政府の首都南京陷落も目睫に迫り、東亞安定の大局的見地より敢然と進められた我が聖戰の輝かしき戰果が着々納められんとしてゐるので敵首都陷落を機會に帝國政府の確乎たる態度を再度中外に宣明すべしとの議が最近政府並に關係當局の一部に擡頭し、これを「つて目下種々の準備工作が關係方面で進められつゝあることは注目されてゐる、即ちその理由とする所は北支方面に於いては既に治安の回復と共に政治、經濟、文化の諸工作が着々進展し、又中支方面に於ては南京の陷落は旬日を出でずと豫想され、且つ皇軍占領地帶たる上海、南京間には早くも民衆自治運動の萠芽が傳へられ、一方國民政府の潰滅に焦慮を感ずる歐米諸國の間では日支間の調停に乘出すべく機會を狙ひつゝあると云ふ實情にあるので、我國としてはこの際再び今次事變に對處する斷乎たる決意と所信を披瀝し、各種の妄想策動を排擊し所期の戰果達成と事變終局の大目的貫徹に邁進すべきであると云ふにあり、調停に反對しつゝ最後のあがきをつゞける國民政府に最後の止めを刺し事變終局に一大轉機を劃せんとするものと注目されてゐる

今拂曉句容を占領
南京へ僅か十里

【上海五日同盟至急報】五日拂曉我〇〇部隊は句容を完全に占領した

【五里舖五日同盟】四日夜十一時句容に突入した我が軍は夜襲を反復しつゝ殘敵を掃蕩し市街の西北端より飛行場に到着、五日日の出と共に萬歲を三唱し市內高樓及び飛行場に日章旗を飜した

【五里舖五日同盟至急報】五日早朝句容を完全に占領した我が軍は一部を以て市街の警備に宛てその主力は南京へ向け進擊前進中、南京へ餘す所四十キロ

先頭部隊戒岡頭へ

【五里舖五日同盟】句容の一戰に於て敗れた敵は算を亂して南京に向け潰走中で、我が軍は追擊に移り先頭部隊は早くも午前八時頃戒岡頭に至り更に進擊中である

先鋒烏山鎭に入る

【溧陽五日同盟】溧水を占領した我が軍は本五日早朝行動を起し一路南京に向け進擊、その先鋒は烏山鎭に突入した、南京まで四十キロである

江陰封鎖線突破
〇〇戰隊遡江に成功

【上海五日同盟】上海南京支那一が艦艇〇〇は事變以來初めて同所艦によつて封鎖された江陰砲臺下を突破、遡江に成功、江陰兩岸の砲臺と猛烈な砲擊戰を展開の封鎖線は四日我が〇〇艦隊によ天生港砲臺と猛烈な砲擊戰を展開つて遂にその一部を取外され、我し、且つ敷設水雷の排除をなしつゝ八圩港に到り、さきに我が空軍の爆擊によつて擱坐せしめた敵巡洋艦寧海を鹵獲した

支那唯一の精銳艦 寧海號を占領
檣頭高く軍艦旗飜る

【上海五日同盟】艦隊發表＝四日午前揚子江上流陸軍の作戰に協力しつゝあつた我が第〇〇艦隊の軍艦〇〇は四日江岸よりする猛烈な敵の砲火を冒し我が軍の爆擊により八圩港に坐礁せる支那唯一の精銳艦寧を占領しその檣頭高く軍艦旗を翻へしたこの戰鬪にて我が方に戰死一重傷一を出した

支那聯盟に 抗議
伊の滿洲國承認

【ゼネヴア四日同盟】支那政府は四日國際聯盟事務局に對しイタリーの滿洲國承認は聯盟の滿洲國不承認決議を蹂躙するものだと抗議を提出した

吳鼎昌豪語

【上海五日同盟】貴州省主席吳鼎昌氏は四日漢口に於ける外人記者との會見に於て徹底的抗戰と和平交涉問題について左の如く述べた
現在支那の財政狀態は今後二年乃至三年は優に戰爭を遂行し得ることが出來る、而も支那は農業國であるから自給自足が可能であつて戰爭に於ける食糧問題を顧念する必要はない、唯一の問題は武器彈藥の供給であるが現在支那は外國銀行に四十五億元の預金を有してゐるので今後二年は軍需品の輸入を行ふことが出來る若し必要があれば外國より借款を受けることが出來るそれ故に支那が受諾し得る和平條件を日本が提示しない限り終局の勝利を得るまで戰ふことだらう、併しながら日本政府が支那の受諾し得るやうな和平條件を提示すれば國府は默然これを承諾するに躊躇するものでない更に日本側の提出する條件が協議の餘地あるものであれば第三[illegible]

ドイツ大使調停說
獨大使、蔣と會見

【上海四日同盟】駐支ドイツ大使トラウドマン氏の調停乘出し說については過般來屢々傳へられてゐたが、四日漢口より當地に達した電報によれば支那側當局は「蔣介石と駐支獨逸大使トラウドマン氏との重要會見は當初の豫定を變更して二日廬山に於いて行はれた」旨發表し、トラウドマン大使調停乘出しの事實が確認された

【上海四日同盟】在漢口の國民政府外交部は廬山に於ける蔣介石と駐支獨逸大使トラウドマン氏の會見につき四日重要發表を行つたが右によると支那側はトラウドマン氏が本國政府の訓令に基き支那側が希望するならばドイツ政府は日支紛爭調停役を買つて出る用意がある旨傳へた事實を確認してゐる、然し同會見に於いてドイツ政府の調停條件項目が正式に提示された旨の報道については之を否認してゐる

英各方面の觀測
獨逸の態度を揣摩

【ロンドン四日同盟】駐支ドイツ大使トラウドマン氏の日支和平調停乘出しを傳へてゐるが、外交界及び新聞[illegible]なからが、新聞報道は[illegible]の觀測は「何らかの[illegible]」に相違ないとしてゐる[illegible]てゐると云ふに一致してゐる、但し一說には「ヒトラー總統が調停により日本の威信を昂めるとともにソ聯と支那を離間する」と云ふ目的は間違ひないとされてゐる、ヒトラー總統は長期戰によつて日本が勢ひ支那がソヴエートの腕に飛び込むのを懸念してゐるのだと論じてゐる
一方イギリスの各方面では日本政府の言論界の反英的議論に必ずしも與してゐる譯ではなく戰爭が豫想外に擴大し且つ支那が一向に折れさうもないのでイギリスの口ききで調停開始を望んでゐるものと信じてゐる
尤も日本軍が南京を占領するまでは眞劍に和平問題は論議されまいと見られてゐる

“日本と和を講ぜよ”
民衆の意見有力化

【上海四日同盟】皇軍の進擊物凄く敵第三線の崩潰は目睫に迫り南京の陷落も今や時間の問題となつたが、戰局のかゝる飛躍的發展と共に日支關係の全局面は今や新たなる段階に入らんとしてゐる、即ち支那側の敗戰に對する認識が漸次昂まる一方、京滬地方三ヶ月半の抗戰によつて蔣介石としても國民の手前抗日の面目は十分保たれたのであるから、今後無益な抗戰をつゞけて徒らに領土を喪失し民族を枯渇せしめるよりはこの際敗戰の事實を認めて日本と和平を講ずべしとする意見が民衆の間に相當有力になつて來た、殊に上海漢口などの財界及び知識階級方面においては民衆は蔣介石に和平回復を要求し、これ以上國力の損失を防止すべしとの空氣が潛在的ながら濃厚化してゐるので駐支ドイツ大使トラウドマン氏と蔣介石との會見は極めて注目すべきものがある

汪の和平演說
民衆を打診？

【上海四日同盟】漢口來電によると汪精衞は三日漢口で民間各團體幹部に對し日支紛爭現段階に關する一場の演說を試みた、右演說中偶々汪精衞は「トラウドマン獨逸大使、蔣介石會談により和平解決策を開始するならばこの機會を逸すべからず」と述べた、之に對し聽衆は一齊に徹底抗日を叫び議論沸騰し同演說會は不愉快裡に終つたと述べてゐる、右は汪精衞が民衆の意向を打診せんとしたバロンデッセイと解され時局柄注目されてゐる

會議中の宋哲元を 低空より爆擊
島谷部隊無事歸還

【〇〇根據地四日同盟】敗軍の將宋哲元が四日午前河北省館陶東明において馮治安以下將領を集め最後の防戰會議を開いてゐるとの情報に接した我が新鋭島谷部隊は、直ちに〇〇基地を出發〇機編隊を以て午前十一時四十五分東明上空に二十數臺の自動車が集まり城內司令部の門外には宋哲元以下各將領が一堂に會して作戰に腐心中と觀測されたので、我が軍は〇〇米の低空よりこれに爆擊を加へ更に城內外の重要軍事施設に徹底的損害を與へた、敵は機關銃を以て應戰し來つたが我が方に損害なく大成功を收め全機無事歸還した、なほ宋哲元の生死は目下の所不明である

岡崎騎兵部隊
祁縣襲擊の敵を反擊

【石家莊四日同盟】三日午後九時頃山西省祁縣（太原南方十五里）を襲擊し來つたので我が岡崎騎兵部隊は直ちにこれを反擊三百の敵が、敵は四十の死體を遺棄して南方に潰走した我が方の損害兵一名

蔣介石南京にあり
紐育タイムス特派員と會見

【上海四日同盟】皇軍の猛進により南京の危機が近づくに從ひ蔣介石の居住が問題とされ重慶或は廬山等種々取沙汰されてゐたが、三日夜ニューヨークタイムス特派員が南京に於て蔣介石と會見した事實より見て蔣は未だ南京にある事實が立證された

ソ聯通信記者
支那軍に從軍
十名飛行機で漢口着

【ニューヨーク四日同盟】ＵＰ通信社漢口電報によればソヴエートのタス通信社の從軍記者十名が四日飛行機で漢口に到着した彼等は東南北の各戰線で支那軍に從軍戰況報道の任務につく豫定だといはれる

日本軍の行進と 英佛當局の態度

【ロンドン四日同盟】イギリスの輿論は日本軍の租界行進について重大關心を抱いてゐるが、懸念された事件も發生せず日本軍が租界より撤退したことに安堵し租界當局がよく機宜の處置をとつたことを賞讚してゐる、併し日本側が租界の大行進を行つた動機に關しがフランス租界を通過したことは租界に對する壓迫を强化せんとしたのではないかとさへ疑つてをり官邊では[illegible]の意見が擡頭してゐるが目下未決定である、もやリスの輿論はフランス租界當局が日本軍の通過を拒絕したのは極めて

中立法の發動
即時必要
米上院で論ず

【ワシントン四日同盟】三日日本軍が上海共同租界を行進中起つた南京路事件直後日本軍が現場附近一帶に警備に就いた際、アメリカ陸戰隊は自己の警備區域から日本軍の撤退を要求一時緊張した場面を呈したと傳へられるが、この報道は上院の中立法論者に對して轉機を與へ中立法發動論に一層拍車を加へるに至つた、ナイ議員は曰く共同租界に起つた事件は中立法即時發動が絕對に必要なことを示すものであるアメリカは共同租界に派兵すべきではなかつたクラーク議員曰く
アメリカ軍隊が一日永く支那に駐屯すればそれだけ米國が紛爭に捲き込まれる危險が增大する

支那の抗戰は 第三國の尻押し
イタリー紙主筆の論調

【ローマ四日同盟】ヂ・ニルナーレ・デ・イタリヤ紙主筆ガイダ氏は四日の紙上で支那は第三國の尻押しで抗戰を續けてゐるのだと左の如く論じてゐる
支那はエチオピアと同じく第三國の尻押しで日本との抗戰を續けてゐるのだ將來歷史は支那が直面しつゝある悲慘な運命は貫に誤まれる民主々義の結果だと銘記するだらう、日本の大陸政策は人口的、經濟的必要に基くもので支那は日本の提携申出を受諾する義務がある從つて抗日を以て之に報ゆる支那の態度は日本の政策を正當化せしめるものだ、支那の抗日と云つても是は自發的な國民運動ではなく外部からの尻押しと脅迫に基因するものであることは明瞭である、英米佛ソヴエート聯邦などは初めは支那を援助するかに見せかけながら最後には支那を見捨てゝ不干涉主義に一變した、ソヴエートが今後いくら公然と支那を援助した所で同國は近く對日宣戰を布告するなどとは到底考へられない

米國領事に 歸國を命ず
國務長官言明

【ワシントン四日同盟】スペインのフランコ政府は最近ビルバオ駐在アメリカ領事ウイリアム・チヤツプマン氏に對しアメリカの正式外交使節たる資格において執務するやう要求したが、國務省當局は右はアメリカがフランコ政府を暗默の裡に承認することを意味するものであるとし之を拒絕すると共にチヤツプマン領事に歸國を命じた、ハル國務長官は四日新聞記者團との會見において右につき次の如く言明した
國務省はチヤツプマン領事に對し歸國を命令した、フランコ政權の態度が變らぬ限り國務省は同領事を歸任させぬ方針である假令歸任するとしても同樣の資格において赴任するものである

居留民大會
國旗凌辱事件に決議

【上海五日同盟】一イギリス人の我が國旗凌辱に關する上海居留民大會は本日午前十時より東和劇場で開かれた、問題の重大性に憤激した居留民は滿場立錐の餘地なきまでに參集、大國旗を飾つた會場には一種凄愴な氣が滿ちた、林雄吉居留民團長の開會の辭、目蹈者談、緋纈演說などがあつて彈が上にもイギリス人排彈の氣運を濃化せしめ居留民一致左の決議を決行し官行委員をして我が軍政當局に手交することとし正午散會した
決議 十二月三日南京路において皇軍行進の途中一イギリス人が我が國旗に加へたる凌辱事件は居留民の斷じて忍び能はざる所なり
乃つて帝國政府は本件に關し毅然たる態度を以てイギリス朝野の反省を促し斷乎としてその責任者を嚴罰の處に出られんことを要望す右決議す
昭和十二年十二月五日
上海居留民大會

激戰數時間
有力匪殲滅
討伐隊一名戰死

【奉天五日同盟】岩松部隊五日午前發表＝片野討伐隊の竹原部隊は去る二日午後一時奉天省本溪縣第四區老禿湖に於いて匪首不明の有力匪賊を發見激戰數時間の後これを殲滅した、本戰鬪に於いて一等兵若林泰吉氏(東京府出身)は壯烈な戰死を遂げ伍長春山美之氏（埼玉縣出身）は負傷した

日曜氣配（十二月五日）

期米 天候良好に現物共に見送られつゝあるも品摺れと環境高で押目買氣潛み氣配手堅し、氣配五十六、七錢
株式 戰勝人氣とインフレ見越に買氣再燃しつゝあり日光强含み氣配手堅し
大新九二、〇〇、東新一六二、五〇鐘新二七四、〇〇、日產七七、三〇

本日夕刊四頁

佛軍艦續々 極東へ
新情勢に備ふ

【シンガポール四日同盟】南京方面の戰局進展に伴ひ南支方面の情勢は緊迫し、辭紛を尖らしてゐるフランスは東洋艦隊を續々强化してゐるが、三日潛水艦アシュロン、フレシネル（共に一千三百七十九トン）の二隻がシンガポール通過佛領印度支那へ向つた、巡洋艦ラ・モツト・ピケー級（七千二百四十九トン）モンカルムの二艦も近く當地通過極東に向ふはずである

白衣の勇士 陸軍病院へ

北支で激戰に[illegible]傷のため傷いた名譽の森本部隊の[illegible]村少尉、小[illegible]部隊の矢野少尉、鈴木部隊の松下少尉等四十七名の白衣の勇士は五日午前十時京城驛着列車で到着、[illegible]中將はじめ軍部將星、愛婦、國婦、在鄕軍人等官民多數の出迎へを受け、自動車で沿道の盛んな出迎へ裡に龍山陸軍病院に入つた（寫眞は京城驛で自動車に收容される白衣の勇士）

戰局日記【四日】

南京戰線（四日本社着報の戰況綜合）
上海軍四日午前零時發表＝『丹陽縣城を占領し』たわが部隊は更に金壇、溧陽、郎溪を陷れ一路南京を目標に急追を續け南京最後の防禦線である鎭江、句容の線を突破するのも目前に迫り、皇軍の意氣既に長驅漢口、重慶をも壓する概がある』上海軍四日午後六時半發表＝『太湖西岸地區より挾追、攻擊態勢を取りつゝありしわが軍は、その後杭州灣上陸部隊をもつて十二月四日午前遂に溧水（南京南方十五里）水陽鎭（蕪湖東方十里）の線を占領し、これに南京包圍の戰略的基礎態勢を完成せり』――皇軍の南京占領は日一日と迫つたのだ、急追の如きわが無敵部隊攻め寄すと共に南京は早くも浮足立ち士氣沮喪してゐる、蔣介石は前線防禦陣地を視察すると共に二日夜は『日本軍に降服するとを願

空爆戰線 海軍航空隊は敵は南京城內飛行場を爆擊格納庫燃料倉庫を爆碎、更に漢口に飛んで飛行場に待機中の敵戰鬪機十數機に大打擊を與へた、又北支戰線ではわが陸の荒鷲、島谷部隊は四日午前十一時卅分河北省南端館陶附近の東明を襲ひ卅九軍北部高司令部と覺しき建物に巨彈の雨を降らし跡形なきまでに粉碎したが或はこの爆擊によつて廿九軍首腦部は全滅したのではないかと見られる

國定忠次（131）

長谷川伸作　岩田專太郎畫

暗殺（七）

六道あたりへ、玉村の主馬と樅崖の傾左は、行つてゐるだらう。南風にかはつて、温度がのぼつてゐる。

岩田の成松は向野に引返した。一人になると怖くもあり、熱くもなる。

月の暈だが雲に隠れて光りはたい。どこを見ても暗く、何が潜んでゐるか判つたものではない。

と、見ると街道を御籠が一挺、南を駈けるやうに、國定へ向かつてゐる。

（いけねえ。忠次の死骸を掴んでゆきやがつた）

舌打をしないばかり、悔んで見送つてゐるうちに、御籠の提灯が遠くなつた。

（死骸がねえとなると、この印籠と鼻紙入は役に立たなくなつた——いやさうでねえ、死骸のあつた近所まで行つて落とさねえではいけなかつたらう）

四邊をみると、人の氣配がない。風に騒ぐ葦の葉の擦れあふほかに音もない。

成松は眼を配りながら、すこし行くと以前の場所だ。そこには黒い物が地上に横たはつてゐる。

（おツ！）

透してみると人だ。

（ははあ、今の御籠は忠次を乗せてきた御籠だな、あいつらがどうなつたか氣が付かなかつたが——逃げたのは知つてゐたが、ま、どうでも良い、いづれ、腰を抜かしてゐやがつたんだらう。此方が三人共浪人姿だ、御籠の間抜に看破れつこねえ）

安心して近づいた死體の傍で、印籠と鼻紙入とを首尾よく落としたあとは、死體の顔を見定める、氣味の悪いことが残つてゐる。

成松は死體から眼を背け、足探りで近づいた。生温かい風が、血の臭さを吹きあげてきて、反吐が吐きたくなつた。

（見るまでもねえ、確に忠次だ）

と、思ふ氣と、違ふと打消す氣とが、俺のうちに入り亂れた。

（俺も岩田の成松だ、いくら人が見てゐねえからとて臆病ではいけねえんだ）

勇氣をふるつて死體に眼を向けた。月はまだ雲の裡にある。死體の血に黒く、眼鼻がはツきり判らず、すこし開いてゐる口のなかの歯の白さだけしか眼につかない。

（たあンだ矢ツぱり忠次ぢやねえか）

小助の顔を知らない成松は、確めるより先に忠次と極め、行きかけたが不安心である。引返してきて火を翻つた。煙草の火で更めてもう一度、忠次の死骸を確める氣である。

かち、かちッと燧石を打つた。火花がぱツ〳〵と散る。

と、ぷうンと焦臭く匂つてきた。

「おやッ」

氣がついたが遅い。成松の背骨に激しい足蹴が一ツ飛んだ。

「ねッ！」

小助の死體の上へ成松がのめつた、その背骨へ又一ツ。

「この野郎ッ」

どかりと激しく蹴付けた。成松は死體の顔に額を打付け、狼狽てて跳ね起きんとする、その又顔を三度目の足蹴だ。

成松は片手を死體に突き、鍔を抱つて對手を睨んだ。

「何をしやがる」

「何をしやがるとは何だ？」

「うぬはどこのどいつだ？」

「われ、浪人の服装してゐるだが浪人でねえだ」

成松は（しまッた！）と悔んだ。武士に向かつて何郎ぞといつた方がよかつた。

對手は袷一貫の乾兒である。

「たれだア？ 冠り物取れ、面が見えねえだ」

「さういふうぬはだれだ」

「國定一家の乾兒何だ」

「あ 乾兒か」

乾兒ならそんなに怖くない對手と、成松は安心して起ちあがる。それに眼を放たず乾兒が、

「おら知つてゐるだな。すると、おらもわれを知つてゐるだ屹と。はず、判つた。われ、玉村の主馬の配下の成松だ、さうだな成松」

と、いふうちに成松は刀に手をかけてゐる。

妻

小島政二郎作 【112】

宮田重雄繪

落葉 (五)

聞いてゐて、鈴子は胸の透く思ひがした。

と、突然、

『花田君 牝がここにゐる。』

さう云ふ聲が耳許でしたと思ふと、いきなり鈴子は二の腕を掴まれた。

『何をするんです。』

牝と云ふ言葉も不愉快だつたので、カッとなつて、さう云ひながら鈴子は、掴まれた腕を激しく振り拂つた。

『何でもいゝから、來い。』

腕を掴んだ一人に向つてゐると、その暇に、外の一人が、うしろからさう云つて、彼女の腕を無慳に突き飛ばした。

踉けて、誰かに突き當つたはずみに、その人がまた鈴子の肩を突き戻した。

『あれ——』

右へ左へ小突かれながら、厭應なしに鈴子は櫻井の傍へ突き出されてしまつた。

『よう、似合ひの逢夫婦。』

さう云ふ半聲がどこからか飛んで來た。

それが總ての合圖らしく、

『良風美俗を害するものとして、當の名に於いて制裁を加へる。』

花田がしかつめらしく宣告を下した。とたんに、左右八方から、

『ワーッ。』

と、一圓が二人を眞中に押ッ取り圍んで來た。

鈴子にとつて、すべてが餘りに咄嗟の出來事だつた。

『僕のうしろに隱れてゐらつしやい。』

櫻井の聲が耳許で叫いた。

叫いたばかりでなく、ズイと前へ出て鈴子の體を庇つてくれた。うしろはすぐ壁だつた。

『さあ來い。』

足と手とを巧みに使つて、櫻井は群がる醜を身近に寄せ附けなかつた。

『何だ、可哀にゐない。』

彼の手足に觸つた群の者は、みんな、

『イテテ——』

忽ち戰意を失つて、人を撥ぎ分けてうしろの方へ逃げ込んで行つた。

『ソレ。』

一聲叫んだと思ふと、鈴子をそこに殘して、櫻井の體が砲彈のやうに群集の中へ飛んで行つた。

『あッ——』

恐怖の聲を上げて、サーッと人の群の左右に分れた。その眞中で彼は花田を掴まへてゐた。

『來い。』

掴まへたと思つてゐたとたんに、櫻井は元の位置に飛び返つてゐた。

『此奴等——』

彼の留守に、鈴子を襲つた三人ばかりが、次の瞬間、忽ちその場に鐵倒されてゐた。

RADIO

六日(月) 第一放送

午前六時五五分 ニュース
同七時一分(東) 基礎獨語講座(三十六) 武內 大造
同七時三〇分(東) 朝の修養 日本高僧傳 曹洞宗(五)
同七時五一分(東) ラヂオ體操
同八時一〇分 今日の天氣見込
同八時五五分(東) 小學生の時間『全學年』朝禮訓話 陸軍大將 男爵 本庄 繁
同九時二〇分(城) 氣象通報
同九時四五分(城) 料理獻立(鯛のかけ燒)(白菜と鮭の博多蒸・清汁)
同九時五五分(東) 家庭メモ
同一〇時三〇分(大) 家庭講座 家庭で使用される金屬器具の腐蝕とその防止 阪大助教授・工博 ○賀谷正義
正午(東) 時報外
午後零時五分(東) ハーモニカ合奏 ミヤタ・ハーモニカバンド 指揮並編曲 宮田 東峰
同零時三三分(東) 國民歌謠 君が代行進曲外六題 合唱 オリオン・コール 伴奏 AKアンサンブル 國民精神の歌
同零時三〇分 ニュース
同一時一五分 家庭の時間(釜山) 染色について(一) 裴 祥明
同二時(東) 小學生の時間〔第四〕ラヂオスケッチ 私たちの村々 東京學校劇協會
同二時三〇分(東) 家庭講座 唱歌 東京市大岡山小學校兒童 料理と溫度 工學博士 櫻井 省三
同三時一〇分(東) 教師の時間 學校遊戲指導講座(十一) 戶倉 ハル 伴奏 菅 富子
同四時 ニュース外
同六時(鮮) お話(京城) 博多人形 梅林 新市
同六時 ハーモニカ合奏(釜山) 釜山高等小學校 ハーモニカ・バンド 指揮 牛島 亮輔
一、露營の歌 二、箱根の山 三、嗚呼我が戰友
同六時 唱歌と對話(平壤) 平壤山手尋常小學校兒童 ピアノ伴奏 高濱 生甫
一、唱歌 菊の花外五題 二、對話 ゑもんぶくろ 指導 川上 京子
同六時お話(滿洲)〃なぜ風邪をひくのでせう〃 磯傳 中井 義一
同六時二〇分(東) コドモの新聞
同六時二五分(城) 講演 體育運動の回顧と希望 朝鮮體育協會常務理事 梅澤慶三郎
同六時五五分(東) カレントトピックス
同七時 ニュース・天氣見込
同七時三〇分(東) 講演 非常時の國產振興と國產愛用 日本商工會議所會頭 門野重九郎
同八時(東) 聖譚曲─日比谷公會堂より中繼─ 獨唱ソプラノ 立松 房 同 アルト 齋藤 靜子 同 テナー 園田 誠一 合唱 武藏野音樂學校生徒 ピアノ伴奏 土川 正浩 同 守田 貞勝 指揮 アウグスト・ユンケル 聖譚曲『マッカベウスのユダ』より ヘンデル作曲・門馬直衛譯詞
同八時三〇分(福) 俚謠 一、博多節 二、黑田節 唄 玉 和歌 三味線 ひろわ
同八時四〇分(東) 箏曲〃冬の曲〃 箏 米川 文子 同 竹下 俊子 尺八 田中 松擧
同八時五五分(東) 名作物語(中)〃誹諧師の內儀〃 德川 夢聲
同九時三〇分(東) 時報ニュース外
同一〇時(城) 朝鮮語ニュース
同一〇時(城) 地方へのニュース
同一〇時三五分(東) 英語ニュース 銃後美談
同一〇時四五分(東) 支那語ニュース

第二放送

午後零時五分 獨唱
同一時一五分 家庭の時間 裴 詳明

あすのきもの 七日(火)

午後零時五分
同六時(城) コ…ック『十二月』
同六時二五分 國民經濟 朝鮮銀行理事 横瀨 守雄
同七時三〇分(天津より) 講談 太田與志外
同八時(城) 一曲
同八時三〇分(東) 長唄名曲選(第九回) 鞍馬山 芳村伊久四郎外
同八時五〇分(東) 名作物語(下) 花暦八笑人 德川 夢聲
同九時 連續古…

オヂラ

聖譚曲 (日比谷公會堂より) 8・00

『マカベウスのユダ』より

一七四五年スコットランドが英國に叛したときこれを平定したカンバアランド卿の凱旋を祝すために當時の英國皇太子の囑によりヘンデルが一七四六年の夏に完成した三部からなる大オラトリオであつて歌詞は僧トマスモレルの作で舊約聖書外經第一卷にある故事に基づく

×　×

卽ち紀元前二世紀にユダヤの愛國の志士マツタシアスの息子マツカベウスのユダは其の父の死後父の遺志を繼いでユダヤを虐げたシリア國の王アンテイオクスの軍と戰つてこれを破り祖國の獨立を恢復した

第一部は志士マツタシアスの死を悲しむユダヤ國民に祭司長ユダが現れて人々を勵まして自由の軍を起すことを取扱ふ、第二部に於ては出征した英雄ユダが決死の國民を率ゐて敵の大軍を破る、第三部に於ては故郷に留まつて只管に戰勝を祈りながら待つ國民に使者が勝利を告げやがて人々の歡喜の裡にユダが凱旋する

從つて此のオラトリオは祖國愛、敬神、尙武の精神が溢れ、戰爭と勝利との作として、一七四七年の初演以來英國は勿論ドイツ及びその他に於ても盛んに演奏されてゐる。此のオラトリオの中の名曲五篇を選んで之を特に形容して歌ふ

俚謠 (福岡より)

一、博多節

みさを立縞いのちもけんじよう、かたく結んだ博多帶
手へ結びを博多帶に染めて、贈るまごころ主の親
たゞの一人で博多にきたが、歸りや人形と二人づれ
瓊吾十萬沈めた海と、聞くも男まし波の音

二、黑田節

すめらみくにの武夫は、如何なることをか努むべき、唯身を持てるまごころを、君と親とにつくすまで
花よりあくるみよしのの、春の曙見せたらば、もろこし人もこま人も、大和心になりぬべし

講演 體育運動の回顧と希望

朝鮮體育協會常務理事 梅澤慶三郎

今年度の體育運動界に於きまして最も吾人の注意を喚起したものは、國民體位の低下問題、及東京オリムピツク開催の決定であると思ひます

この二大問題に對する時、體育運動の振興及び之が普及徹底はこの問題解決上重要なる部面を擔當するものと思ひます

此の壊難すべき體育運動の統制機關としての朝鮮體育協會の使命を反省し、所屬各種團體の活動狀況を回顧し將來に對する希望の一端を語りたいと思ふのであります

京日特選棋譜 (8)

八段 高部道平
二子 四段 荒木親吉

黑九十より百迄

追擊戰展開 覆面道人

一般方略に就て

本日の白九十一以下は昨日の黑九十以下の追擊であるが、白の一般方略としては黑九十以下を後手で治らせて、白(い)と轉戰、その方面の黑地を破れば、形勢混沌化に依つて黑は慌てる、そこを狙へて白勝を越すべしといふにあるであらう

後悔なくば幸也

黑は九十二で既に慌て氣味だ。といふのは、この白九十一の攻擊最中こそは、黑(ろ)白(は)の交換の絕好の機會であつて、後日白から(ろ)の直ぐ左に打たれるとすると其交換の無いことは明白で、大きな利害得失を生ずるからである。又白九十三と追擊の眞中、黑九十四と轉じたのは面白くたい。白に九十五と乘られて、黑九十二以下に弱體を惹起するからである。されば黑九十四は單に九十六が好ましい。

だが九十四の云分

卽ち黑は九十六と打つた現在にあつても不安ならざるを得ない。黑九十四は自ら直ぐ左に白兩斷を保留して黑九十六以下の支援としたと云ふ云ひ分こそあれ、さて白兩斷と出たが最後、白に九十四の右上角に突込まれ、白に依つて右側を脅されるの結果となり、黑甚だ面白くない。

明の宿題

更に白九十七以下黑百までは、白の立場からすれば、黑九十六以下への追擊戰、また黑の立場からすれば、黑九十四の支援はあり、黑百と斷じ終つて、黑九十六以下に危險はない、と、これが兩者それぞれの思惑であるに違ひない。ところで、明日は白に(に)と打たれる惧があり得る。諸君の考へ如何?これが明日への宿題である。

(明治卅九年八月十日第三種郵便物認可)

京城日報號外

昭和十二年十二月六日

【本紙不再錄】

發行所 京城府太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話本局(2)一一八一番 振替口座京城三〇〇番 編輯兼發行人 兒島吉治 印刷人 小川三之介

遂に南京の敵と相見ゆ

めぐる山々を隔てゝ對峙

【上海五日同盟】四日夕刻句容市街東方に肉薄せるわが軍は敵陣の動搖を見て同夜十一時夜襲を斷行して市街の西北端まで一氣に强行突破を試み五日未明遂に完全に句容を占據したが、南京は句容と生死を共にするといはれた程の軍事上の要害で中央軍練兵場、近代的設備を完備した飛行場と共に南京防備地として最後的陣地である、溧水、句容の陷落によつて南京防衞第三線は脆くもここに崩壞したわけで わが軍は漸次三面包圍の隊勢をとりつゝあり 太湖南北を迂回せるわが軍は再びこゝに相まみえて緊密なる直接聯繫を保ち 南京城の周圍を繞る山々を距てゝ南京の敵と相對峙するに至つた

◇…戰禍迫る南京中華路

南京市内に砲聲轟渡る

【上海五日同盟】外人側南京來電によれば、五日朝來遠雷の如き砲聲が南京市内に轟き渡り正午に至るも繼續してゐる、日本軍の最前線は南京東北四十キロに肉薄せるものゝ如し

死の街南京

【ニユーヨーク四日同盟】A・P通信社南京四日發電報は皇軍進擊の前に今や命旦夕に迫つてゐる南京の狀況を左の如く報道してゐる

南京には未だ三十名のアメリカ人が殘留してゐるが、アメリカ大使館員は四日これら殘留アメリカ人に對し「支那側も日本軍が南京より六十哩の地點にまで進擊して來たことを警報あつたから大使館から警告があつたら直に南京を引揚げるやう」注意を與へた、彼らは多分五日砲艦パネー號で引揚げるものと豫想される、南京の東南二十哩にある村落の婦女子は既に全部避難したが一方支那軍は益々南京の防備を固め中山陵及び明孝陵方面の森は砲兵の視野と狹めるため全部取拂はれた南京城壁の防備には優秀な軍隊が配置されてゐるが、市外に送られてゐる軍隊の中には新に徵發された兵が多く裝備も極めて貧弱である、官廳は悉く兵營に使用されてゐる、日本空軍は四日故宮飛行場を爆擊したが投彈極めて正確で軍需品を貯藏してゐた建物は破壞され大損害を蒙つた、但し死者はなかつた模樣である、蔣介石は日本軍が來避中に鎭江及び句容に對して猛擊を加へることを豫想し某方面から三十萬の精鋭部隊を集結したといはれる

世界の同情も抵抗も無意味

メール紙論ず

【ロンドン四日同盟】デイリー・メール紙は四日の紙上で日支紛爭の和平を希望し左の如き社說を掲げた

全世界は今や日支兩國から一日も早く和平交涉の申出があるのを希望してゐる、戰爭が一日永引けばそれだけ人命並に財貨の損失增大を意味するものである支那は世界各國から絶大な同情をかち得た、ブラツセル會議が無為に終つた今日具體的援助を期待することは出來ない、支那は勇敢に抵抗したが終結に於いてはそれは結局何の役にも立たない

敵ジヤンク空爆中

某國汽船に命中沈沒

蕪湖附近の揚子江上で

【上海五日發本社特電】五日正午ごろわが陸軍の荒鷲隊は蕪湖前面揚子江上に支那敗兵を滿載する數百の支那ジヤンクが密集し且つその中に英國旗らしきを掲揚する汽船三隻發見したので汽船への波及を考慮しつゝ深甚の注意を拂つて爆擊を敢行したその際該汽船一隻は遂に沈沒したがわが軍では第三國船に對し屢々警告を發し且つ今回の如き場合その遭難は不可抗力だと見てゐる

【上海五日同盟】上海軍五日午後六時發表＝五日わが陸軍飛行機は蕪湖附近に於て敗兵輸送中の多數のジヤンクに對して爆擊中その一彈は附近にありし某國々旗を掲げたる汽船に命中、該汽船は沈沒せるものゝ如し

かゝる事件を顧慮

既に屢々諸外國に注意

當局談

【上海五日同盟】五日蕪湖附近にて敗兵輸送ジヤンク爆擊の際陸軍機の投じたる一彈が某國々旗を掲げたる汽船に命中した事件に關し上海軍當局は左の當局談を發表した

當局談 軍當局は既にかくの如き事件の惹起すべきを顧慮し屢々諸外國に注意を喚起せる所にして今回の事件の如き寧ろ起り得べかりし必然的の事件なりと思惟せらる

杭州猛爆

【上海五日同盟】海軍航空部隊三木、千田部隊は五日早朝より全力を擧げて杭州を襲ひ杭州驛附近の軍事施設に猛爆擊を加へた

裏面にもあり

長驅蘭州（甘肅省首都）空襲

蘇聯製の敵十四機を粉碎

【東京電話】大本營海軍報道部五日午後二時公表＝わが海軍航空隊〇〇機は十二月四日午後一時長驅甘肅省蘭州飛行場を急襲し兵舍及び大型機四機（四發動機裝備）小型機十機を粉碎し小型數機を損傷せしめたる後上昇し來れる戰鬪機（ヒ十六型）二機を擊退し全機無事歸還せり、なほ蘭州にありし飛行機は全部ソ聯製なるを確認せり

またく南京空襲

【上海五日同盟】南郷・三原・岡各大尉指揮の海軍空爆部隊精鋭〇〇機は五日午前十一時長驅南京に飛び敵空軍飛行場を襲ひ猛爆擊を敢行し無事歸還した、この日南京地上よりの砲火は猛烈を極めたが、わが空軍の果敢な攻擊に恐れてか敵機はその姿を見せなかつた

敵機影を見ず

【上海五日同盟】五日午前寒風を衝いて南京を爆擊せる海軍航空隊は更に揚州、徐縣に飛び同地兵營を爆擊大損害を與へた、この日南京、徐縣にも敵の機影を見ず　わが荒鷲部隊は全部歸還した

獨大使に對し和議不能を回答

南京政府外交部發表

【上海五日同盟】去る二日南京において蔣介石と重大會見を遂げた駐支ドイツ大使トラウドマン氏は外交部次長徐謨と同道四日漢口に歸還し徐謨は直に同地外交部に於て王寵惠部長に委細を報告した、外交部發言人は五日午後漢口外交部における共同會見において左の如く發表した

ドイツ大使トラウドマン氏は去る二日南京到着、直に蔣介石と會見徐謨次長の通譯にて約一時間半に亙り意見の交換を遂げたが右會見においてトラウドマン氏は本國政府の訓令に基きドイツ政府としては日支双方が同意するならば調停に乘出す用意ある旨を蔣介石に傳へ蔣介石はドイツ政府の好意を深くこれを謝とするも支那としては侵略中の日本軍が支那領土から撤退せざる以上和議の會議は絶對不可能なる旨を回答し、且つ日本が侵略を持續する以上支那は飽くまで抵抗を徹底的に行ふべき決意を有すると答へた

南京空爆の勇士南郷大尉

遣戰部隊にあつて敵首都南京に二日大爆擊を加へ敵機十三機を擊墜、赫々の武勳を樹てた南京空襲隊の指揮者南郷茂章海軍大尉（二三）

駐希ソ聯大使歸還命令拒絶

辭表を提出す

【パリ四日發同盟】アテネ駐剳ソヴエート代理大使アレクサンドル・バルミン氏は今回本國政府から歸還命令を受けながらこれを拒絶してパリに來てモスコー政府に辭表を提出した、同氏はパリの人權擁護聯盟中央委員會に宛てモスコーに於ける反革命事件裁判のことを書き送りその中で次の如く述べてゐる

大多數のパリジャンは本國へ召還されたソヴエート市民の安全を祈つてゐる、余も亦本國へ召還されたまゝ消息を絶つてゐるソヴエート外交官の表の中に加はりたくないから辭表を提出した

けふの天氣

晴れ寒い【きのふの最低溫度】零下十一度四

上海戰線寫眞

【上】支那人民にも飯盒の飯を分けて食事をさせるわが皇軍勇士【中】上海南市で避難民救濟寄附金を募集する白衣支那女性【下】殘敵をじりじり追擊中のわが勇士（〇〇鎭にて）